

くじゅう坊ガツル地域のプロフィール

坊ガツル湿原は、阿蘇くじゅう国立公園くじゅう地域の東部に位置し、標高は1,250m、面積は53haの広大な湿原です。周囲を三俣山、平治岳、大船山、立中山といずれも1,400mから1,700m級の山々に囲まれ、三俣山のすそ野に沿って鳴子川が流れています。景観に優れ、くじゅう連山の登山基地として、またキャンプやトレッキングなどで多くの人々が訪れています。

また、昔から山岳信仰にまつわる寺院があったところで、景観に優れているばかりではなく、歴史的ないわれをもつ地域でもあります。

平成17年11月には、夕凧原湿原とともにラムサール条約に登録され、その環境の重要性が国際的に認められました。



阿蘇くじゅう公園国立公園は、熊本県の阿蘇火山一帯から大分県のくじゅう山群と飯田・久住高原、由布岳・鶴見岳一帯に及ぶ広大な公園です。

九州最高峰の中岳（1,791m）をはじめ数多くの山々と広大な高原のおりなす雄大な風景は、日本の火山風景を代表する国立公園です。

山岳地帯には、ミヤマキリシマ、コケモモなど、数々の高山性植物が見られ、湿原地域には、リュウキンカ、シラヒゲソウなど希少な植物が数多く見られます。